

奄美野生生物保護センター
ニュースレター

奄美の風だより



暖かい日が続き、アカヒゲのさえずりをよく聞くようになり、春が近づいてきているんだな、と感じます。

さて、今回はザトウクジラの調査に同行させていただきましたのでご紹介したいと思います。

ザトウクジラは冬の時期だけ、奄美群島近海に交尾・子育て・出産のためにやってきます。現在、クジラの個体識別やホエールウォッチングのルール作り等を目的とした調査が行われています。

うねる波の中、船酔いとの闘いでしたが、ザトウクジラの見事なジャンプ（ブリーチ）を見ることができ、気持ち悪いことも忘れ大興奮でした。自分が住んでいる奄美に！ こんな近くの海に！ クジラがいるんだ!! と本当に感動しました。多くの島民の方に、クジラ存在を知ってもらい、この素晴らしい感動を体験してほしいと思いました。自分の中で、奄美の価値がグンっと上がること間違いなしです。

（吉田）



今の時期に見られる動植物



ミゾゴイ

奄美大島や徳之島、喜界島などに旅鳥として渡来する。繁殖地が日本しか知られていないため、世界的な希少種。



シリケンイモリ

奄美群島と沖縄諸島の計13の島嶼に分布。今の時期は繁殖期のため、水たまりなどで数匹集まっているところを見ることができる。



リュウキュウハナйкаダ

奄美大島、徳之島、沖縄島、伊平屋島に分布。林縁に生える高さ1～2mの落葉低木。花は葉の上に咲く。



レンギョウエビネ

奄美大島、徳之島、種子島、屋久島に分布。林内の倒木に生える地生ラン。葉は4～5枚つき、披針形で長さ20～60cmになり縦じわがある。



今季の一枚 「アマミエビネ」

奄美の花を代表する花の一つアマミエビネ。花期は3～4月。林床に生える地生ランです。花の色は、白、淡いピンク、紫などです。

美しさや希少さから知名度も高く人気の花です。県の条例で採取を禁止されていますが、その人気のためか時折、盗掘されたニュースが報道されます。私一人ぐらいなら…という気持ちは捨て、奄美の自然を守るのは一人一人であるという認識を持ってほしいと思います。どうか今年は盗掘のニュースが報道されませんように。



奄美群島市町村だより

自分たちの地域の魅力を再発見し、また他の地域の
ことを知り、奄美の自然について理解を深めましょう。

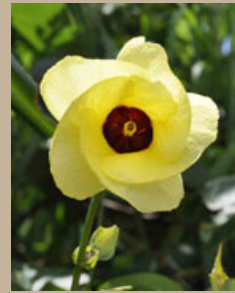


今回は
徳之島町
です



井之川岳遠望

徳之島町は、昭和 33 年 4 月 1 日に亀津町と東天城
村の合併により発足しました。徳之島のほぼ東面を占
め、面積は約 104.87 平方 km です。



徳之島
町の **花** 【オオハマボウ】

島の子守唄に歌われ、古く
から島の人々の生活に根付
き、あざやかな黄色の花が
人の心を和ませてくれるこ
とから選ばれました。



自然保護パトロールの実施



アマミマルバネクワガタ

島内 3 町の自然保護担当課と民間人有識者らで構成する徳之島地区自然保
護協議会では、「奄美・琉球」の世界自然遺産登録への候補地ともなっている、
徳之島の自然保護及び保全活動に、官民と NPO 等が一体となって取り組ん
でいます。

昨年秋には、アマミマルバネクワガタなどの希少な昆虫に対する盗採圧力
が高まる時期に合わせ、希少昆虫等の生息地周辺を中心としたエリアを対象
に監視パトロールを行いました。地区自然保護協議会員が 2 名ずつペアで夜
間の林道沿いを回り、不審車両を確認した事例もありました。今回は、採集
等が禁止されている動植物の所持は無かったものの、過去の違法採取者は専
門的な知識も豊富で巧妙に振る舞う例もあったことから、様々なケースに対
して的確に対処できるよう関係者もスキルアップを図る必要があります。



おすすめ観光名所

【金見崎ソテツトンネル】

畑の境界として植えられたソテツが、350 年程度の年月を経てトンネル状に群生したと見
られています。トンネルの先には展望台が設けられており、眼前には太平洋の大海原が広が
ります。その先には、太公望垂涎の釣り場「トンバラ岩」を望むことができます。



ソテツトンネル

蛙プリンスビーチ



【蛙プリンスビーチ】

サンゴが砕けてできた白い砂浜が広がり、“島一番”とも言われる蛙プリンスビー
チは、天皇陛下が皇太子時代の昭和 47 年に、美智子妃殿下と訪れたことから命名
されました。沖合に広がるリーフ内には枝サンゴなどの群落が発達し、色とりどりの
熱帯魚が迎えてくれ、シュノーケリングを満喫させてくれます。

【徳之島町 企画課】



いきもののふしぎ ～ オオトラツグミのお話 ～



十数年前まで、幻の鳥と呼ばれていたオオトラツグミ。近年では森林が回復し、また調査も進んだことにより、個体数が回復傾向にあることがわかっています。未だ生態については不明な部分がありますが、オオトラツグミについて最新の研究結果も含め、現在わかっていることを紹介したいと思います。



ポイント

オオトラツグミとは？
奄美大島のみに生息する留鳥。国の天然記念物。国内希少野生動植物種。絶滅危惧Ⅱ類(環境省第4次レッドリスト)。

オオトラツグミの形態・生態



森林に住んでいる

キョロリンツィー

★ 雌雄同色

★ 頭からの上面は暗い黄褐色

繁殖期は 春

♪ さえずり ♪

特徴的な美しい声です。

夜が明ける前の30分ほどだけ、
さえずります。

※さえずりとは、・繁殖期に主にオスが発する鳴き声。メスにアピールしたり、他のオスになわばりを宣言する。

★ 黒い三日月の斑がある

★ 下面の白い部分が黄色みがかっている

全長 30cm



エサは主に「ミミズ」

子育て



オスとメスで子育てをおこないます。
エサは主にミミズです。

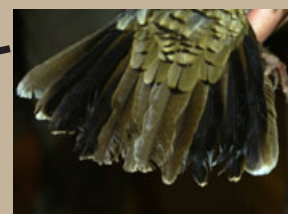
巣



巣は大木の枝の股や岩棚、着生シダであるオオタニワタリに作られます。
巣材はコケ。

★ 尾羽の上の羽は黒いイチョウ柄

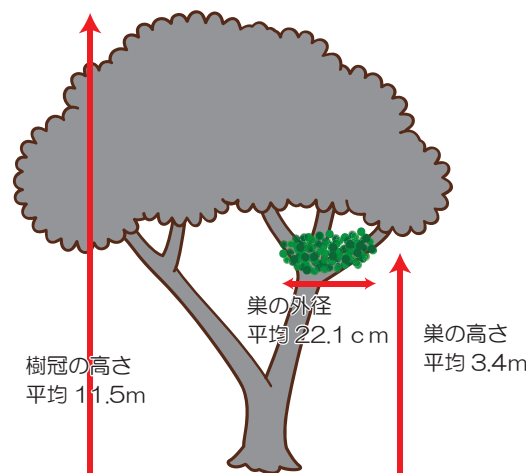
★ 尾羽の枚数 12枚



子育てについて

前のページでも紹介しましたが、子育てについて最新の調査結果から詳しく見ていきましょう。

● 巣の特徴と営巣環境



● 巣をつくる場所としては、林齢の高い広葉樹林が好まれるようです。

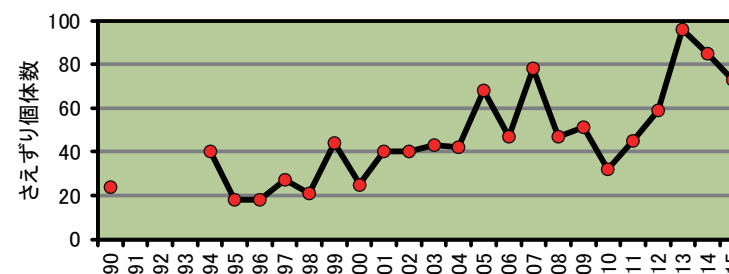
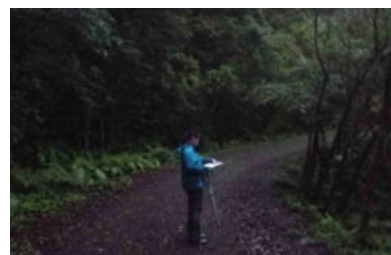
● ヒナに与えるエサのほとんどがミミズです。8か所581回の給餌を観察したところ、78%はミミズ、3%はムカデやヤスデ、幼虫などの節足動物でした(その他19%は不明)。

● ヒナが巣立ちに成功する割合は半分くらいです。失敗の原因は卵やひなが他の動物に食べられることです。卵やひなを食べる動物はわかりませんが、ハシブトガラスやルリカケスなどがあやしいと考えられています。

● 巣をつくる場所として林齢の高い広葉樹林が好まれるのは、そのような森林にはエサとなるミミズが多く、また巣を作るのに適した大木やシマオオタニワタリも豊富だからだと思われます。

オオトラツグミの一斉調査

NPO法人奄美野鳥の会が毎年3月に行っている調査で、今年で22回目となります。100名ほどの調査員が夜明け前の林道を歩き、さえずりを記録します。



奄美中央林道での調査結果です。これによると数は年々増えつつあることが分かります。

トラツグミとの違い

冬の時期には、近縁種であるトラツグミが渡ってきます。オオトラツグミとトラツグミはとても姿が似ているため見分けるのは難しいです。見分けるポイントを解説します。

トラツグミ

全長 29.5cm

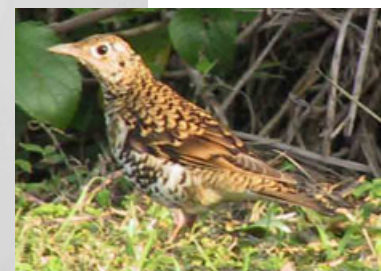
トラツグミの基本情報

留鳥または漂鳥(国内を季節ごとに移動する)。奄美群島では冬鳥または旅鳥として渡来する。農耕地または森林に生息する。



ヒョーヒョー

不気味な声で夜間に鳴きます。この鳴き声は鵺(ぬえ)という妖怪のものと考えられ、恐れられていました。



オオトラツグミと比べると細いくちばし



センター & 協議会 News



お知らせ

木村自然保護官の異動とアクティブレンジャー伊藤の退職のお知らせ

今年度をもちまして、自然保護官の木村麻里子は異動、アクティブレンジャーの伊藤結は退職いたします。短い間でしたが、地元の方々や関係者の皆様には大変お世話になりました。木村自然保護官はやんばる自然保護官事務所（沖縄県）で世界自然遺産の業務等に携わるため、「奄美・琉球」チームとしてこれからも奄美の方々にお世話になります。アクティブレンジャー伊藤は、今とは少し離れた仕事ですが、奄美で得られた経験を次の仕事に生かしてくれることと思います。皆様ありがとうございました。



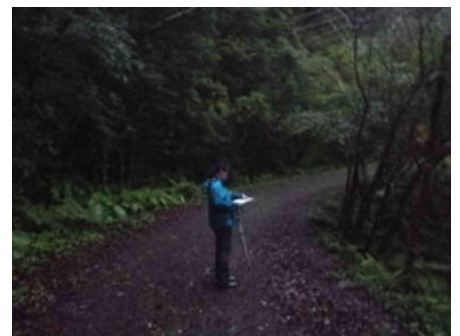
報告

オオトラツグミー斉調査

とき：2015年3月15日（日）

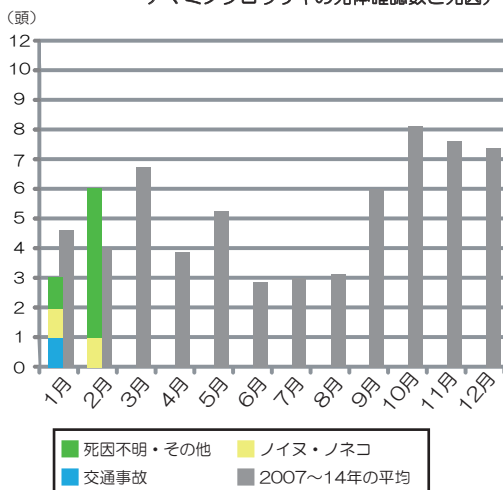
場所：奄美中央林道、金作原林道、里林道、油井岳、スタルマタ林道、住用ダム、金川岳

NPO 法人奄美野鳥の会主催で毎年行われている一斉調査。今年は155名の調査ボランティアが参加し、オオトラツグミのさえずに耳を澄ませました。天気が悪く土砂降りのときもあり調査をするうえではあまり良いコンディションではありませんでしたが、奄美中央林道では73羽の個体を確認することができました。



アマミノクロウサギ死体確認数

(2015年2月末日時点の
アマミノクロウサギの死体確認数と死因)



※アマミノクロウサギがケガをしていたり、死んでいるのを発見したら奄美野生生物保護センターまで連絡して下さい。

奄美に住む動物たちのために、あなたができること

安全運転

特に夜間の林道ではゆっくり走行しましょう。

犬・ねこの適正飼育

野生化した犬・ねこは、アマミノクロウサギをはじめとした「奄美の森の宝」を食べてしまうこともあります。



捨てない

最後まで責任をもって飼いましょう。



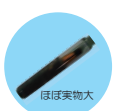
避妊・去勢手術

繁殖制限することで、望まれない命を生み出さないこと、ペットの健康を守ることにあります。



マイクロチップ

ペットの確実な身元証明になります。



放し飼いをしない

ねこは室内飼育、犬は室内もしくはリードをつけて外で飼いましょう。

犬・ねこに関するお知らせ

ワクチンには、狂犬病ワクチンだけではなく、犬猫をさまざまな病気から守る混合ワクチンというものがあります。犬ねこがかかる病気はさまざまありますが、ワクチンによって防げる場合があります。また、病気になってしまっても軽くすむので、健康に過ごせる可能性を高めることができます。年に1回打つことが推奨されています。

いきものおもしろ写真館



アワフキムシ

葉っぱのあわあわ。これはアワフキムシの幼虫の巣です。それもなんとおしっこから作られたもので、これでアリなどの敵から身を守ります。この巣はとても丈夫で雨や風にも流されることはないそうです。自然の凄技ですね。

編集後記



山菜の季節がやってきました♪特に私はタラノメの天ぷらが大好きです。今年は何回か味わうことができて幸せでした。これからの時期は、ノビル、タケノコもありますし、山菜ではありませんが、もうそろそろ長命草の新芽も食べごろでしょうか。食欲の春ですね。